

函館市難病患者在宅療養支援学習会

テーマ：神経難病患者を地域で支えるためのネットワークづくり

事例報告：地域で暮らす神経難病患者の現状と課題

○目的○

地域で暮らす神経難病患者の現状を把握し、住み慣れた地域で長く在宅生活を送っていくための課題について考えよう！

神経難病は、原因が不明で根治的な治療がなく、次第に障害が進行し、身体機能やコミュニケーション能力が著しく障害されてしまいます。そのため、介護負担が大きく、進行すると胃瘻管理や人工呼吸管理が必要になる等医療依存度や看護負担も大きいことが特徴です。

病気の経過が長期となる場合が多いことから、患者本人や家族にかかる身体的・精神的負担は重く、支援関係者の理解と協力体制が不可欠であり、連携を図り、患者情報を共有し、在宅ケア体制を構築していく必要があります。

座長/講師：医療法人 亀田病院 副院長

脳神経内科 丸尾 泰則 先生

○日時○

令和元年10月26日(土) 午後2時～午後4時(受付開始:午後1時30分より)

○会場○

函館市総合保健センター 2階 健康教育室(函館市五稜郭町23-1)

○対象○

難病患者に携わっている保健・医療・福祉関係者

参加希望の方は、10/16(水)までにFAXにて事前申込みをお願いいたします。

※ 申込用紙がお手元にならない場合は、当課よりFAXいたしますので、下記までご連絡ください。

<お問い合わせ・申込み先>

市立函館保健所 保健予防課

(函館市総合保健センター内)

☎ TEL32-1539 / FAX32-1526